

# 城西大学と地域連携

城西大学 2020公開講座 第一回  
2020. 12. 2

学長 藤野陽三

第二回	9日	伊関先生	新型コロナ感染症医療対策
第三回	16日	安田先生	感染症の伝搬シミュレーション

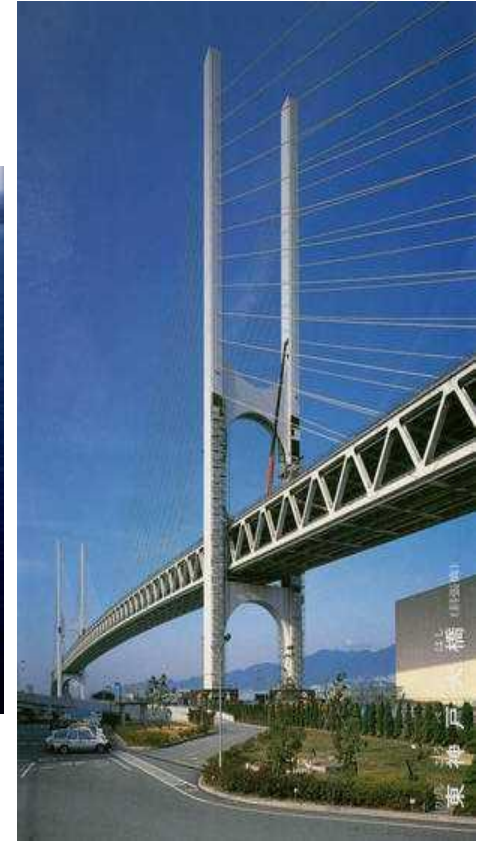
# 講義の流れ

- 1. 私のこと，専門**
2. 城西大学のこと
3. 城西大学の社会連携活動

# 自分のフィールド

# 橋 Bridge

## 風や地震による揺れ(振動)とその制御



一般社団法人日本橋梁建設協会HPより  
(上・右)



# 国土・都市



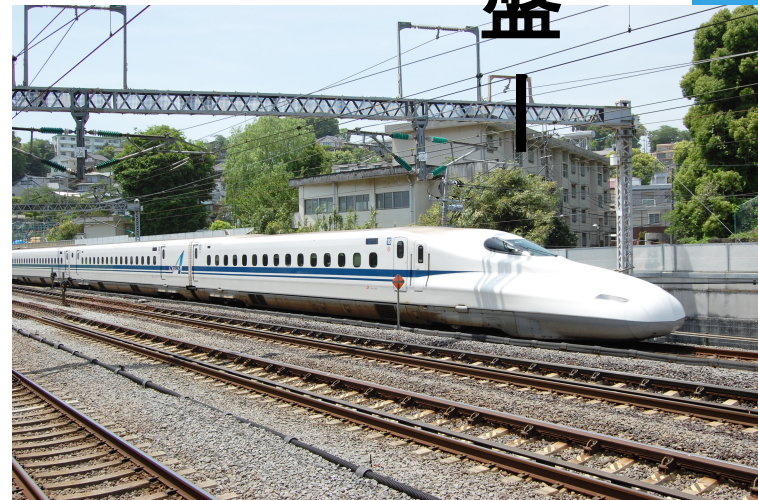
## 経済・社会の基盤

## インフラストラクチャ

## 社会基盤



## ネットワークを構成



# 塩野七生(ななみ)さん

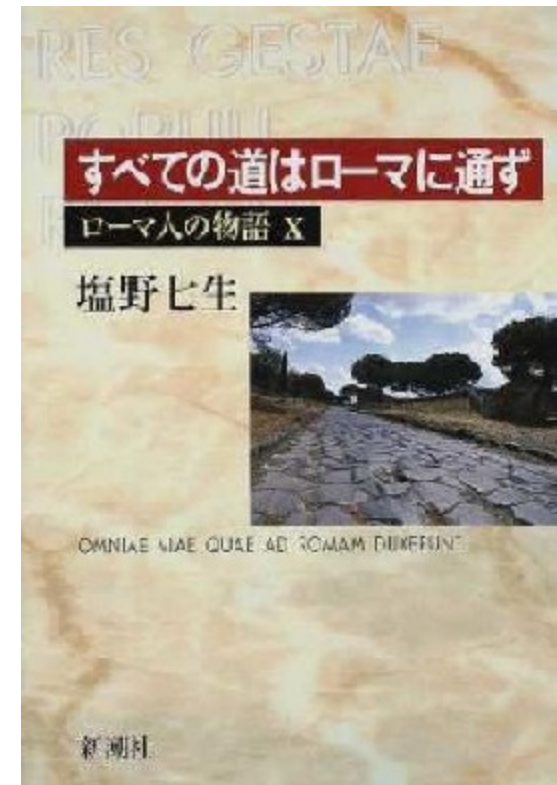
## 歴史作家

『すべての道はローマに通ず  
ローマ人の物語X』2000年

「インフラとは人間が人間らしい生活を送るために必要な大事業」

「インフラぐらい、それを成した民族の資質をあらわすものはない」

ローマ人の考えているインフラとは、  
街道、橋、港、神殿、広場、劇場、円形闘技場、競技場、公共浴場、  
水道等に加え、安全保障、治安、税制などのシステムと  
医療、教育、郵便、通貨のシステムまで入っている

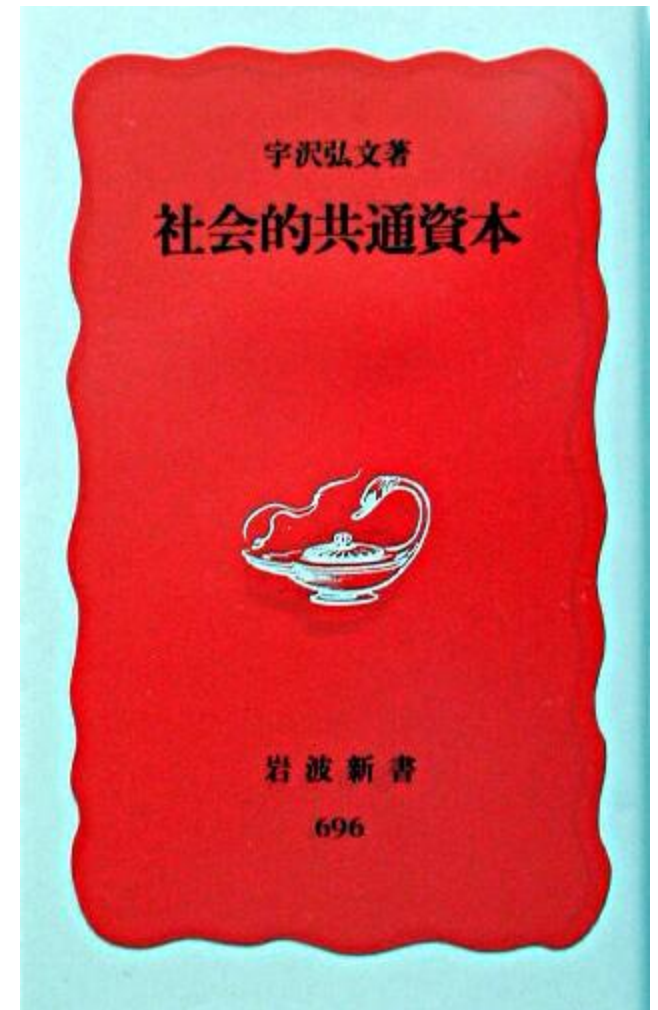


# インフラストラクチャ = 「社会的共通資本」

「みんなが使う、みんなのもの」  
「公」（官ではない） 対「私」

- **自然環境**      **サイエンス的要素**  
大気，水，森林，河川，湖沼，  
海洋，沿岸湿地帯，土壌，**地震**，**雨**…
- **社会的インフラストラクチャー**      **工学**  
道路，交通機関，上下水道，港湾  
電力・ガス      所謂「社会資本」
- **制度資本（システム）**      **社会科学的要素**  
公共政策，**教育**，医療，金融，司法，行政

工学を軸に，科学も社会科学も守備範囲。  
常に，自然と社会を見て，広い視野でことに臨む。



宇沢弘文  
(1928-2014)

1928年鳥取生まれ 父は教師

一家で東京に出て 一高 1951年東大数学科卒

そのあと経済に転向 論文が注目されて アメリカに招聘

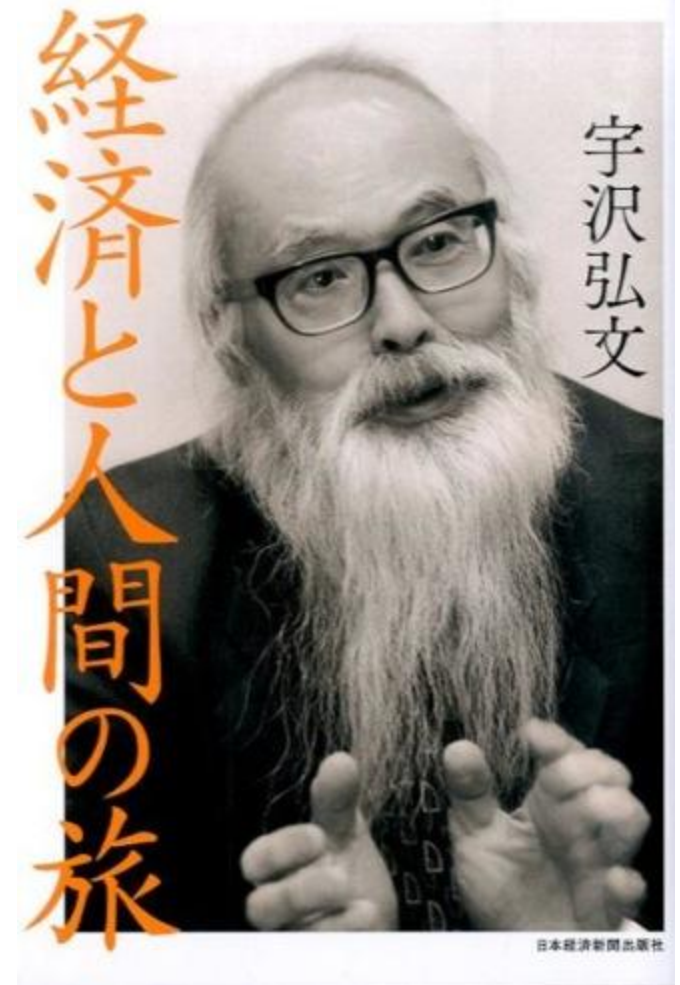
数学を駆使した経済学を展開

1964年シカゴ大学教授

ベトナム戦争に嫌気がさして

1968年東大に 助教授

1969年東大教授

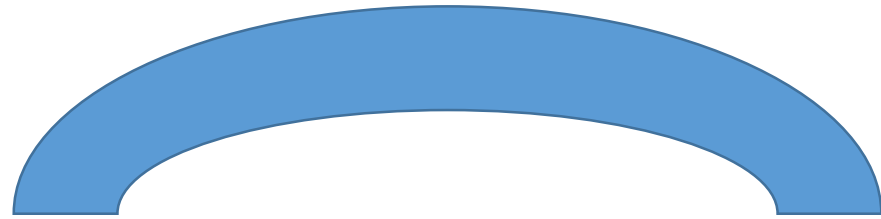


## 昭和天皇からのお言葉 1983年

- 文化勲章受賞者と文化功労者を昭和天皇が招かれた講話の場で、  
文化勲章受賞者（建築家 武藤清） 超高層ビル設計の講話  
昭和天皇「君、地震のときは、上の階にいる人はたいへんだそうだよ」  
文化勲章受賞者「建物は大丈夫です」  
昭和天皇「建物は大丈夫でも、人間はたいへんだそうだよ」  
文化勲章受賞者「建物は大丈夫です」  
このようなやりとりが3回ほど繰り返されて、昭和天皇はとうとう諦めて、黙ってしまわれた。
- 文化功労者（宇沢弘文） 社会的共通資本等の経済学を講話  
昭和天皇「君！君は経済、経済というけど人間の心が大事だと言いたいのだね」  
昭和天皇のお言葉は、経済学に人間の心を持ち込むのはタブーとしていた私（宇沢弘文）にとって、**コペルニクス的転回**ともいうべき一つの大きな転機を意味していた。

Bridge 橋渡し

城西大学



地域



## BUILDING BRIDGES

という本からの抜粋

生まれて以来，人は自分と周囲との間に，一つ一つ橋をかけ，人とも，物ともつながりを深め，それを自分の世界として生きています．この橋がかからなかったり，かけても橋としての機能を果たさなかったり，時として橋をかける意志を失った時，人は孤立し，平和を失います．この橋は外に向かうだけでなく，内にも向かい，自分と自分自身との間にも絶えずかけ続けられ，本当の自分を発見し，自己の確立をうながしていくように思います．

“BUILDING BRIDGES:Reminiscences of Childhood Readings”  
『橋をかける:子供時代の読書の思い出』美智子 著，文藝春秋



待望の復刊

皇后 美智子さまが語る  
少女時代と読書の思い出

.....(日本語・英語版を収録).....

疎開生活を励ましてくれた本、喜びと悲しみを教えてくれた本.....

「それはある時には私に根っこを与え、  
ある時には翼をくれました」

文藝春秋 定価(本体1800円+税)

『橋をかける:子供時代の読書の思い出』  
美智子 著, 文藝春秋

# 多和目(たわめ)橋 俗称 ガタガタ橋



坂戸市大字多和目  
(高麗川 城西大学南側)

冠水橋

潜り橋 潜水橋

沈下橋

# 多和目天神橋

# 多和目橋から500m下流



水圧に抵抗

これも冠水橋



木橋？

# 高知 四万十川



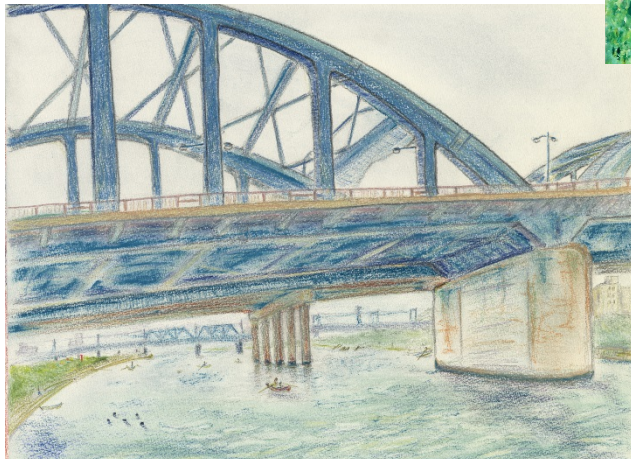
# 橋の風景画教室

## 橋を勉強するために 1993年にスタート



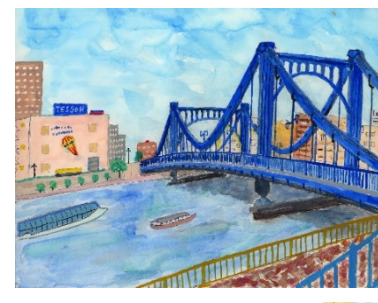
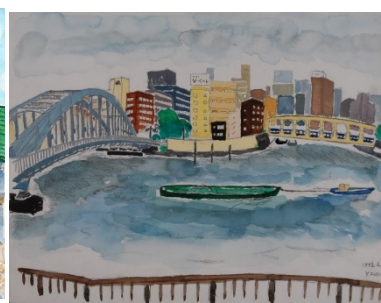
### 2000年度 風景画教室作品集

50年も100年も町の中に存在する橋は記憶referenceになりうる。

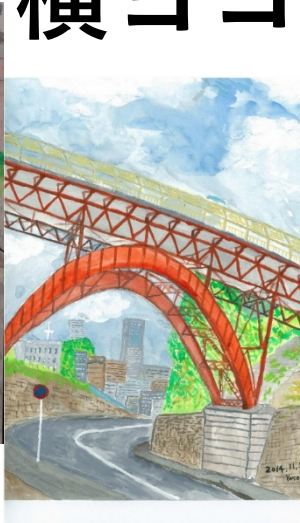


#### 2000年度風景画教室

- 第1回 2000年4月22日(土) 皇居平川橋
- 第2回 2000年5月13日(土) 東京駅
- 第3回 2000年6月 3日(土) みなとみらい21
- 第4回 2000年6月24日(土) 多摩川園
- 第5回 2000年7月15日(土) 勝鬃橋



# 縦タテ より 横ヨコ



# 多和田橋 多和田天神橋 是非描いてみたい

## 明けてから 多和田の橋

多和田の橋は、多和田の歴史を語る上で欠かせない存在です。この橋は、多和田の発展を支えてきた重要な交通手段であり、多くの人々の生活を支えています。この橋は、多和田の歴史を語る上で欠かせない存在です。この橋は、多和田の発展を支えてきた重要な交通手段であり、多くの人々の生活を支えています。

## 明けてから 多和田の橋

この橋は、多和田の歴史を語る上で欠かせない存在です。この橋は、多和田の発展を支えてきた重要な交通手段であり、多くの人々の生活を支えています。この橋は、多和田の歴史を語る上で欠かせない存在です。この橋は、多和田の発展を支えてきた重要な交通手段であり、多くの人々の生活を支えています。



# 講義の流れ

1. 私のこと，専門
2. **城西大学のこと**
3. 城西大学の社会連携活動

学びがチカラになる。城西大学



◆**建学の精神**  
**「学問による人間形成」**



**創設者：水田三喜男（元大蔵大臣）**

**理事長：上原 明（現大正製薬会長）**

**学 長：城西大学 藤野 陽三 4月から**

**東大名誉教授**

**横浜国立大学名誉教授**

**創 立：1965年（56年目）**

# ◆2つのキャンパス

## 文系+理系=総合大学 & 1キャンパス

### 埼玉県・坂戸キャンパス

(敷地21万平方メートル)

全学部・全学科、大学院、短大、別科



### ★埼玉県・坂戸キャンパス

東武越生線 川角(かわかど)駅下車徒歩10分

池袋駅～川角駅 55分



### 東京紀尾井町キャンパス

(東京都・千代田区)

理学部数学科、短大、城西国際大学



### ★東京外口有楽町線

麹町(こうじまち)駅

下車徒歩3分

城西国際大学  
(東金,  
紀尾井町)

# ◆学生総数・教員数

総学生数:7,858名

- ①男子:5,658名 女子:2,200名
- ②文系:4,535名 理系:2,798名

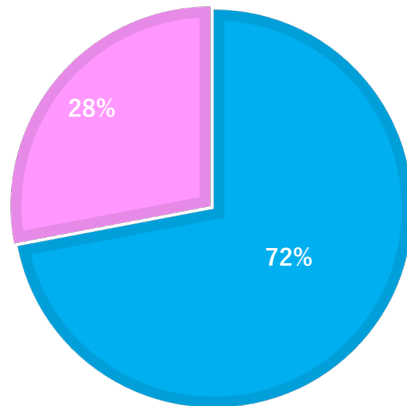
教員数:488名

(専任249名、非常勤239名)

- ①教授102名,准教授72名,助教・講師63名,助手12名
- ②男性教員:183名、女性教員:66名

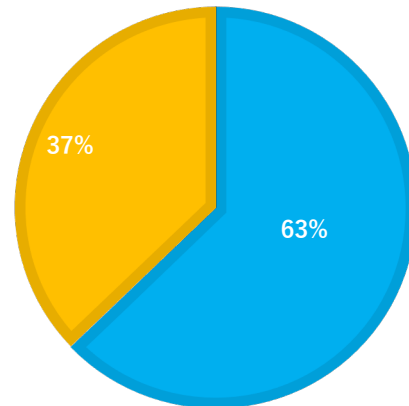
①男女比率

■男子 ■女子



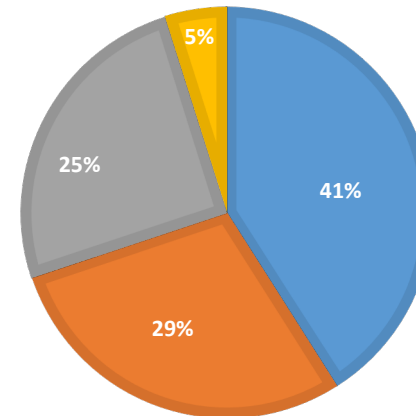
②所属比率

■文系 ■理系



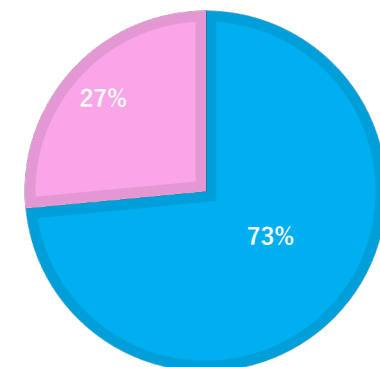
①専任教員数

■教授 ■准教授 ■助教・講師 ■助手



②専任教員男女比

■男性 ■女性



# ◆学部構成

文系・・・社会科学系（3学部3学科）**4,200名**（1,050名）

経済学部・経済学科 1,200名（300名）

現代政策学部・社会経済システム学科 1,000名（250名）

経営学部・マネジメント総合学科 2,000名（500名）

理系・・・（2学部5学科）**2,940名**（610名）

理学部・数学科 480名（120名）

化学科 360名（90名）

薬学部・薬学科 1,500名（250名）6年制

薬科学科 200名（50名）

医療栄養学科 400名（100名）



# 学びの特色

## ◆城西の少人数教育（担任制）

★全学部1～4年（～6年）までに **セミナー、ゼミナール、研究室等に配属**

★基礎・基本から学び研究課題組む



## ◆城西の語学教育

★英語（全学部必修科目）

⇒レベルによるクラス分けと実際のコミュニケーションで活用できる基礎的な英語力の修得

★能力別指導

⇒習熟度を確認しながら授業を展開

★英語以外に学べる**9の言語**（14ヶ国 **外国人教員30名**）

ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・韓国語・ハンガリー語・チェコ語・ポーランド語・マレー語



# ◆コロナ禍における城西大学の取組み

- 1) 全在學生（留学生含む）に**一律50,000円**の  
臨時奨学金（給付）
- 2) 「学び継続」のための**学生支援緊急給付金**を設置
- 3) 学費納入期日の**延長**（4月末から6月末へ）
- 4) 5月11日よりオンライン授業（**約1,200授業**）  
★ 9/21より後期授業を開始  
（対面型、オンライン型、ハイブリッド型）

# ◆坂戸キャンパス

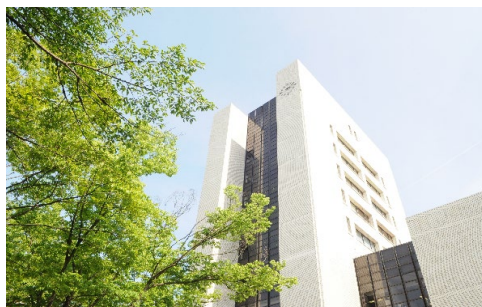
JOSAI スポーツフィールド  
サッカー場2面、ソフトボール場1面

新グラウンド

③施設・設備  
について  
～充実した学  
習環境～



23号館建設中



水田記念図書館  
(48万冊の蔵書)



水田美術館  
(浮世絵コレクション、展示会)



薬学部棟 21号館  
(最新の学習・研究設備)

★23号館(文理融合教室棟)  
～2022年竣工予定～



★JOSAI スポーツフィールド  
サッカー場2面  
ソフトボール場1面



# ④学生サポート

～クラブ活動・国際交流～

～キャリアサポート・奨学金制度～

# ④学生サポート ◆クラブ・サークル活動 100団体

～クラブ活動・国際交流～  
～キャリアサポート・奨学金制度～



**男子駅伝部**  
10/17 箱根駅伝予選会  
**第3位 本選出場 決定!**



11/1 全日本大学駅伝大会  
**第16位**

## 陸上競技部

9/11～13 第89回日本学生陸上競技対校選手権大会（新潟・新潟市）

水久保漱至君が100m、200mで優勝・2冠達成！！

100m **10秒14**（+1.8m）今季日本ランキング**4位**

鈴木涼太君も100mで3位、200mで2位とW表彰



## 女子駅伝部

10/25 全日本大学女子駅伝大会 **第7位**（宮城・仙台市）

## 男子・女子ソフトボール部

11/10～12 全国大学選抜男女ソフトボール選手権大会 出場予定  
（愛知・安城市）

**ご声援、宜しくお願い致します！！**

# ◆国際交流

日本  から グローバル  へ！！

「多様性」「多文化」「多言語」が理解できる 『グローバル人材』が  
いま、求められています！

# JEAP

JEAP (=Josai Education Abroad Program)  
城西大学海外教育プログラム

本学の海外姉妹校に長期・短期留学をし、  
留年や休学をしないで卒業できる本学独自のプログラム

- ★ 短期研修（春・夏休み利用）
- ★ 長期留学（～12か月まで）
- ★ 年間150名以上が参加
- ★ 30ヶ国170以上の提携校と交流



## ◆2020年3月卒業生(大学)就職率

就職希望者 1,343名

就職決定者 1,326名

就職率 **98.7%**

(進学者数 84名)

## ◆主要資格取得等

薬剤師国家試験合格 148名 合格率 **83.6%**

管理栄養士国家試験合格 90名 合格率 **93.8%**

# ◆奨学金制度（入試合格者）

## 特待生制度

2021年度一般選抜A日程（2021年2月3・4日実施）での成績上位合格者に対して授業料を免除

**S特待生**：授業料**全額**免除

**A特待生**：授業料**半額**免除

**採用者数**：大学**40**名・短期大学**2**名

# ◆奨学金制度（入学後）

## 城西大学・城西短期大学奨学生制度

**300,000**円（成績優秀者、各学科の各学年）

## 水田三喜男記念奨学生制度

**400,000**円（国際社会で活躍できるリーダーの育成、10名）

## 女性リーダー育成奨学生制度

**400,000**円（女性リーダー育成プログラム 数名）

## 経済支援特別奨学金制度

**300,000**円（入学後、経済的理由などにより就学が困難、10名）



# 城西大学2020 アクションプラン15

—未来に向かう、面倒見のよい

大学を目指して—

2020年6月26日

藤野 陽三

## A 学生が目線に立った教育の改善

- 1 教育プログラムの更なる改善
- 2 退学者、休学者、留年者を減らすための方策
- 3 **入学志願者を増やすための努力**

## B 教育との両輪としての研究の推進

- 4 外部研究プロジェクト申請の奨励
- 5 学内教育研究費の使途のフレキシブル化
- 6 教員の海外留学の推奨

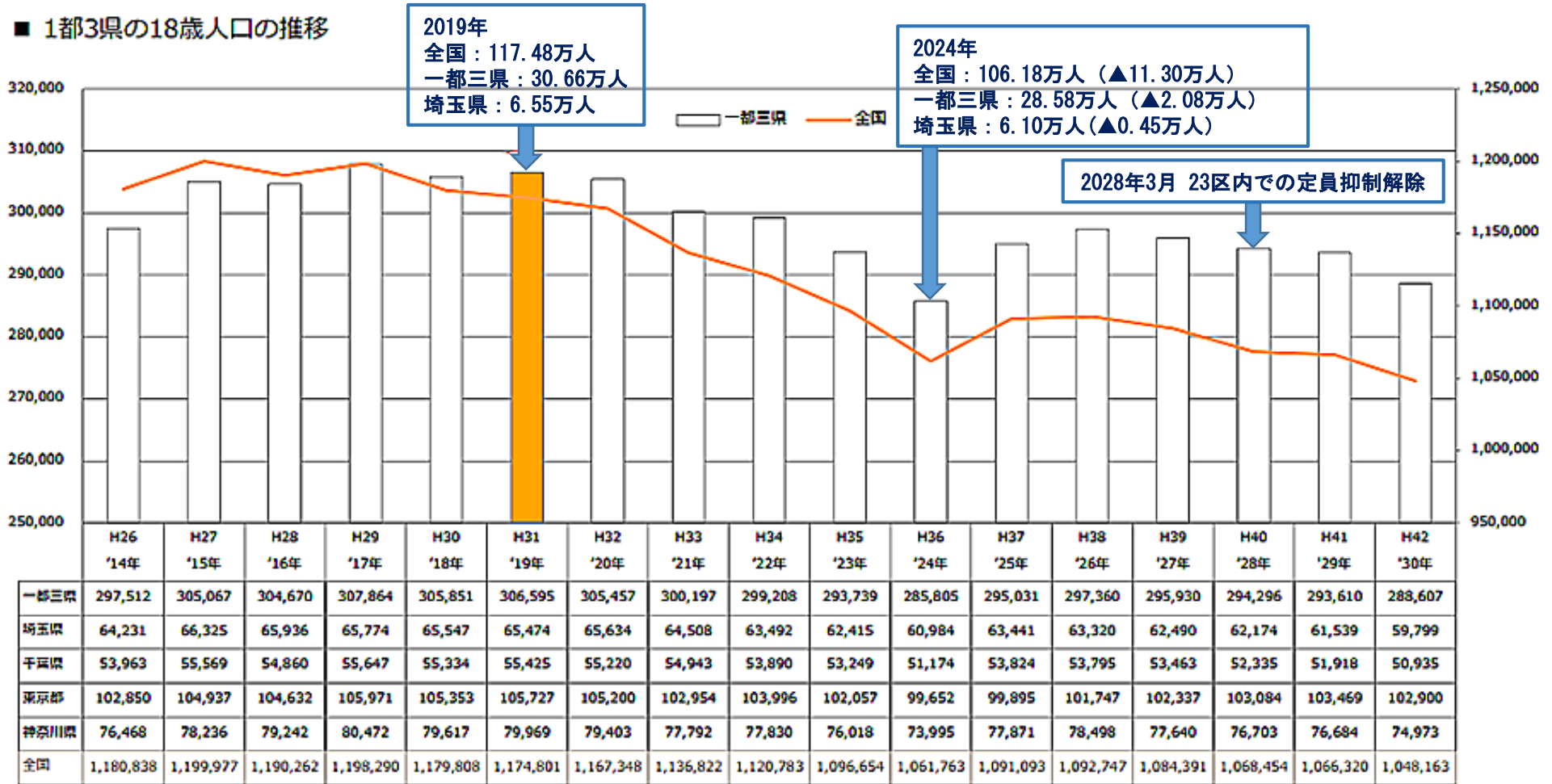
## C 風通しのよい、効率的な組織の構築

- 7 学科・学部内での情報共有化
- 8 学内委員会の整理統合
- 9 事務の効率化の推進
- 10 ハラスメント、不正がないキャンパスの構築

## D 活性化に向けた全学としての取り組み

- 11 顕彰制度の導入
- 12 数理センターの2021年4月発足
- 13 **地域との連携**
- 14 城西国際大学との交流の推進
- 15 同窓会、父母後援会との連携

# 18歳人口の推移 (全国・1都3県・埼玉)



- ◇全国の18歳人口は2019年から2024年までに11.3万人減少し、1都3県では2.08万人減少する。県別減少率：埼玉県 93.1%、千葉県 92.3%、東京都 94.3%、神奈川県 92.5%。
- ◇埼玉県の18歳人口は2019年から2024年までに4500人減少する。埼玉県の高校(194校)の1学年の平均生徒数は295人とする、15.3校分の高校3年生がいなくなる。



# 城西大学2020 アクションプラン15

—未来に向かう、面倒見のよい

大学を目指して—

2020年6月26日

藤野 陽三

## A 学生が目線に立った教育の改善

- 1 教育プログラムの更なる改善
- 2 退学者、休学者、留年者を減らすための方策
- 3 入学志願者を増やすための努力

## B 教育との両輪としての研究の推進

- 4 外部研究プロジェクト申請の奨励
- 5 学内教育研究費の使途のフレキシブル化
- 6 教員の海外留学の推奨

## C 風通しのよい、効率的な組織の構築

- 7 学科・学部内での情報共有化
- 8 学内委員会の整理統合
- 9 事務の効率化の推進
- 10 ハラスメント、不正がないキャンパスの構築

## D 活性化に向けた全学としての取り組み

- 11 顕彰制度の導入
- 12 数理センターの2021年4月発足

## **13 地域との連携**

- 14 城西国際大学との交流の推進
- 15 同窓会、父母後援会との連携

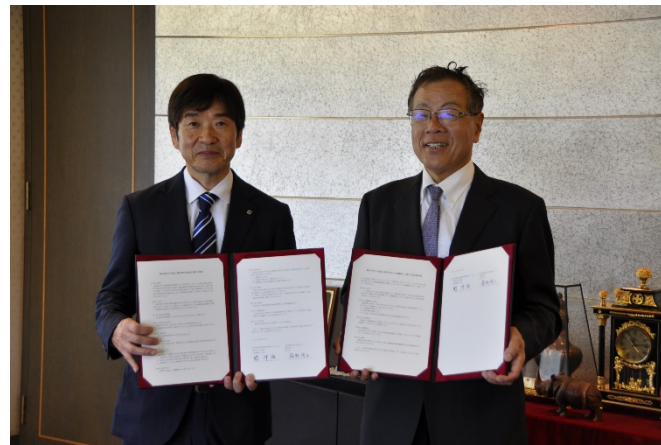
## 13地域との連携

埼玉県西部に位置する城西大学を、「**地域から見える大学**」にすることは、極めて重要なことと考えています。地域の経済、政策、経営、環境、健康医療、栄養などに関わる様々な問題に城西大学が貢献するために、地方自治体、地場産業との連携を強めます。まず、手始めに、**(株)セキ薬品との包括的連携協定**を結び、**薬学科学学生奨学金**をいただくことになりました。共同研究も行い、地域社会の発展に貢献します。

なお、地域という意味ではグローバルな視点からの国際化も大事だと思っています。欧米における様々な状況の中で、渡日留学希望者が増える可能性があります。それに備えて、受入体制を整えておく必要があります。



5月20日にお願いして



6月10日に調印式



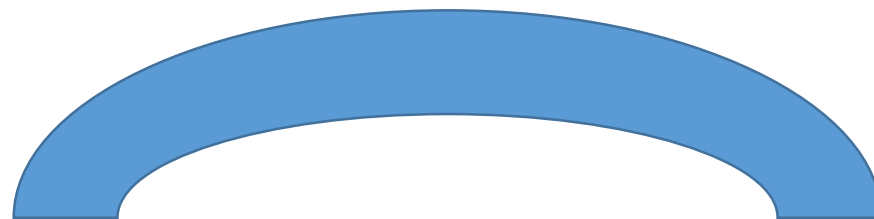


# 3. 城西大学の地域連携について



Bridge 橋渡し

城西大学



地域

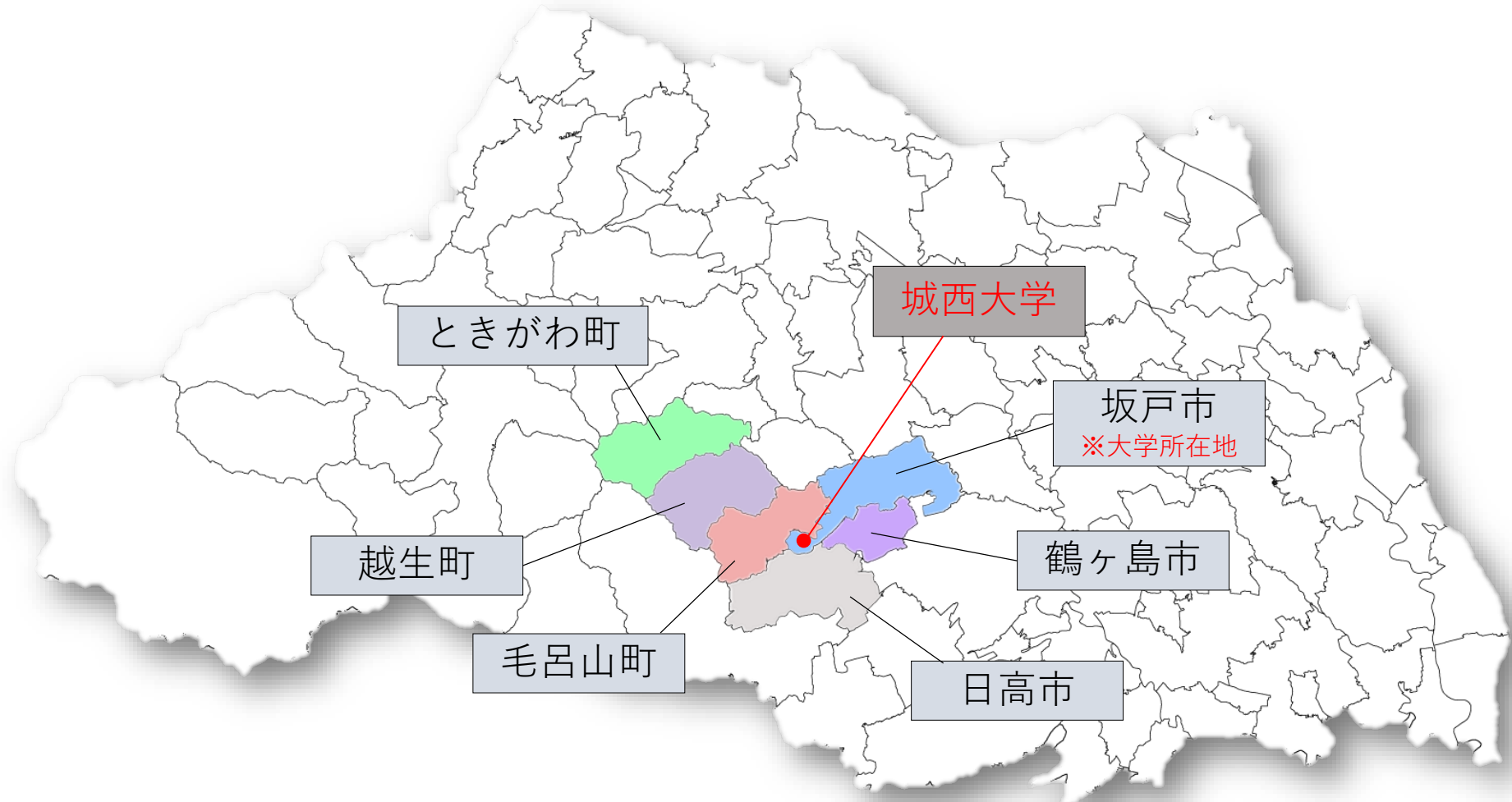
学生の社会体験, 社会学習

学生による町の活性化  
文化活動 健康増進

Win-Win の関係

お互い様

# 近隣市町との関係図



# 城西大学と地域との連携状況 —締結している協定について—

- 自治体との包括協定  
坂戸市（2008年）、鶴ヶ島市（2013年）、毛呂山町（2012年）、  
日高市（2013年）、越生町（2012年）、ときがわ町（2019年）
- 自治体とのインターンシップに関する協定  
久喜市、東村山市、渋川市、前橋市（いずれも2019年）
- 大学間連携  
埼玉東上地域大学教育プラットフォーム（TJUP）、彩の国大学コンソーシアム、  
明海大学・日本医療科学大学・城西大学 三大学包括協定、  
彩の国連携力育成プロジェクト（Saipe）
- 高大連携  
城西大学附属城西高等学校、城西大学付属川越高等学校、埼玉平成高等学校、武蔵越生高  
等学校  
埼玉県立鶴ヶ島清風高等学校
- 産業界等との協定  
株式会社セキ薬品（宮代町）、株式会社丸広百貨店（川越市）、越生特産物加工研究所（越生町）、  
株式会社福島食品（毛呂山町）、有限会社リバティハウス（八潮市）、  
宇宙・産学官・地域連携コンソーシアム（鳩山町） など

# 活動紹介

## —健康市民大学—

- 大学に通学可能な中高齢者が対象
- 月2回土曜日にキャンパス内で、健康づくりに関する講義と実技を実施
- 講師は本学の教員が交代で担当
- 受講料 前・後期 各5万円
- 特典  
通常講義の聴講、図書館・美術館の利用  
プールの利用



	2019年度	2018年度	2017年度	2016年度
坂戸市	12	11	13	10
鶴ヶ島市	9	8	10	9
川越市	6	6	6	7
日高市	7	7	6	5
飯能市	4	4	4	4
東松山市	3	3	3	4
毛呂山町	6	3	2	3
越生町	1	2	2	2
滑川町	1	1	2	2
越谷市			1	1
秩父市	1	1	1	1
川島町			1	1
小川町	2	2	1	1
富士見市	1	1	1	1
鳩山町	3	2	1	
埼玉県外	1	2	1	
合計	57	53	55	51

※ 2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休講

# 水田記念図書館の地域連携活動

水田記念図書館  
図書館長 関 俊暢



## ・近隣公共図書館6館との相互協力

2007年から提携開始 加盟館：坂戸市・鶴ヶ島市・日高市・飯能市・毛呂山町・越生町

### 主な活動

- 館長及び主務者の集い（事業報告・事業計画検討）
- 合同主催公開講座（2019年度講師 理学部化学科 石川満教授）
- 図書館員合同研修会
- 図書館まつり（本学資料展示・学生のビブリオバトル出場）
- 鶴ヶ島市および坂戸市図書館協議会委員

## ・その他

- 坂戸市立城山中学校職場体験学習
- 図書館と県民のつどい埼玉（本学資料展示）



2019年度公開講座（会場 毛呂山町立図書館 参加者 37名）  
「生活習慣病と地域の特性見聞録：埼玉県民は大丈夫か?!」



2011年度研修会 破損本の修理・補修



2019年度 鶴ヶ島市立図書館第32回図書館まつり

展示「ディスプレイの仕組みと光の不思議：液晶の“液”ってなに？」



ビブリオバトル 学生3名出場



2019年度職場体験学習 中学校1年生2名

# ライブラリーカード会員に関する細則

平成20年月4月1日制定

(趣旨)

この細則は、城西大学水田記念図書館（以下「図書館」という。）が所蔵する資料を必要とする一般市民に対して、広く学習、調査又は研究を支援し、もって、学術情報資源の効果的な活用を地域に拡大するため、「ライブラリーカード会員」（以下「会員」という。）制度を設置し、その必要事項を定める。

(定義)

第2条 ライブラリーカード会員とは、本細則に基づき、図書館の利用を許可された者をいう。

(入会資格)

第3条 会員の入会資格は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

(1) 坂戸市及びその近隣地域に在住又は勤務している18歳以上の者（但し、学生を除く。）

(2) その他館長が許可した者

(入会手続)

第4条 入会を希望する者は、身分を証明できるもの（顔写真付）及び顔写真1枚（3.0cm x 2.4cm白黒又はカラー）を持参し、会員申込書に記入して、図書館長の許可を得なければならない。

2 前項にいう身分を証明できるものとは、運転免許証又は保険証等、住所、氏名及び年齢が証明できるものとする。

3 個人情報の取扱いについては、登録及び連絡の目的のみの使用とする。

第5条 前条第1項により許可を得た者に、利用者カード（ライブラリーカード）を発行する。

## 藤野陽三学長おすすめ図書(続き)

『医療につける薬』は薬学の本ではありません。広い意味での医療のあるべき姿を考えようとする本で、医療とは「人間を相手にするものである。病気を対象とするべきではない」という趣旨の本です。薬学も医療の一環であり、医者、看護師、介護士らとチームを組んでやることの大切さを語っています。哲学者との対談も入っていて読みやすい本です。

**医療につける薬**  
岩田健太郎著  
筑摩書房  
2014年6月



知の時代と言われています。人工知能はどこまで発展するのでしょうか。今後、知がどのように展開するのでしょうか。知を代表する世界の識者数十名にサイエンスライター吉成真由美さんがインタビューしてまとめたものです。知をリードする人達が何を言うのか、是非、読んでみてください。

**人類の未来**  
ノーム・チョムスキー [ほか] 著  
2017年4月



**知の英断**  
ジミー・カーター [ほか] 著  
2014年4月



**知の逆転**  
ジャレド・ダイアモンド [ほか] 著  
2012年12月



3冊とも、吉成真由美インタビュー・編。NHK出版

そのほかの紹介本

**Come On!**  
**目を覚まそう!**  
エルンスト・フォン・ワイツゼッカー、  
アンダース・ワイクマン 編著  
明石書店  
2019年12月



**知的技法としてのコミュニケーション**  
児島達次郎 編著  
山田匡一、寺西裕一、都築由美 著  
ミネルヴァ書房  
2017年3月



**成功する人は偶然を味方にする**  
ロバート・H.フランク 著  
日本経済新聞出版社  
2017年3月



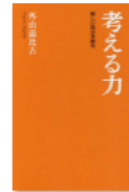
**橋をかける**  
美智子 著  
文藝春秋  
2009年4月



**思考の整理学**  
外山滋比古 著  
筑摩書房  
1986年4月



**考える力**  
外山滋比古 著  
海竜社  
2019年2月



発行：城西大学水田記念図書館  
350-0295 TEL:049-271-7736 mail: library@josai.ac.jp  
埼玉県東上野市けやき台1-1 FAX:049-286-8126 URL: https://libopac.josai.ac.jp/  
P.1 巻頭言 P.2-3 \*\*\*\*\*  
P.4 インフォメーションほか

城西大学水田記念図書館報

Book  
Mark  
2020.9 vol.134



巻頭言

城西大学学長 藤野 陽三

私は本が好きです。今でも毎月5冊は購入しているでしょう。写真は、家の本棚で、この10倍ぐらいの本が家の本棚とかにあると思います。

若い時からそれほどたくさんの本を私が読んできたわけではありません。しかし、年とともに、本をたくさん読んでおくことが大切だと感じるようになりました。新聞も4大紙は目を通し、気になる記事は切り抜きます。新刊書の情報も新聞から得る場合があります。

もちろん今の時代はネットで知りたいことはいくらかでも情報が集まります。知りたいことを知るという意味では、検索機能がついているネットは極めて強力な武器です。このように、ネットはあるトピックの情報をいろいろ集めるというには適していますが、あるトピックに関する考えを体系的にまとめて獲得するには適していないように思います。後で振り返って、読み直してみるのもネットは不適です。

沢山の本に接することで、世の中のいろいろな考え方が分かり、我々の先輩の経験を知り、自分の幅が広くなり、奥行きが出てくるように思います。電子ネット時代に育った皆さんは本にあまり馴染みがないかもしれません。ネットでは味わえない「本」のよさを、図書館で経験、体験してください。



我が家の私の部屋の本棚

図書館HP  
<https://libopac.josai.ac.jp>

図書館Twitter  
[https://twitter.com/lib\\_josai](https://twitter.com/lib_josai)





# 地域連携活動の件数について

2019年度の地域連携活動報告書の提出件数

報告者所属	報告数
経済学部	7
現代政策学部	19
経営学部	20
理学部	12
薬学部	21
短大	1
語学教育センター	1
生涯教育センター	3
学務課	2
図書館	18
美術館	5
その他	5
合計	114

\* 報告書件数の推移 \*

2016年度 85件

2017年度 89件

2018年度 103件

2019年度 114件

※2016年度から報告書のとりまとめを開始



地域連携活動報告会  
(2019.11.22)

# にぎわいサロンの運営と連携事業の情報集約と新規受付業務

総務課（地域連携担当） 渡辺



## 活動の内容

- ・ **北坂戸にぎわいサロン**（コロナで完全予約制にしています）  
北坂戸駅東口駅前。火曜～金曜開室。坂戸市、URと連携。  
地元自治会の方がサポーターとなって運営。地域の方々の憩いの場。
- ・ **地域連携の窓口として**  
外部からの相談受付と担当者への取り次ぎ連絡業務。  
2019年度：越生中学校と本学との合同練習・指導（駅伝、陸上）、  
坂戸西高校PTA講座、比企郡市学校給食センター研修会講師派遣 など



## 活動の内容

- ・ 埼玉県内の20大学、14自治体、7企業・団体の連携事業
- ・ 教育、地域交流、学生イベント、キャリアの4つの大きな事業
- ・ **地元で生まれ、地元で育ち、地元で生きていく若い世代への支援がテーマ**



2020年12月1日より、下記18校に加え、跡見学園女子大学、埼玉女子短期大学が新規加入

 十文字学園女子大学 JUMONJI UNIVERSITY	 城西大学	 城西短期大学	 女子栄養大学	 駿河台大学 SURUGADAI UNIVERSITY	 西武文理大学
 大東文化大学	 東京家政大学 TOKYO KASEI UNIVERSITY	 東京電機大学	 東邦音楽大学	 日本医療科学大学 Nihon Institute of Medical Science	 日本工業大学
 文京学院大学	 学校法人後藤学園 武蔵丘短期大学	 明海大学 MEIKAI UNIVERSITY	 学校法人 山村学園 山村学園短期大学	 立正大学 「モラリスト×エキスパート」を育む。	 公立大学法人 埼玉県立大学 SAITAMA PREFECTURAL UNIVERSITY

# つるがしマルシェ(多文化共生「祝祭空間」の創造)

若葉International Festival

経済学部 勝浦信幸

(元鶴ヶ島市役所)



【きっかけは、ゼミ生たちが気づいた地域課題】

- ・ **若葉駅西口広場**はきれいに整備されているが、東口に比べて寂しい。
- ・ 従来の戸建て住宅と最近できたマンションが混在。コミュニティが心配
- ・ 若葉駅西口にあるブラジルレストラン店長のシルビオさんの強い思い  
共に暮らし助け合うためにも日本人と外国人の交流イベントをやってほしい！

【活動内容：2015年から5回開催】

- ・ ステージでは8カ国11チームが民族舞踊などを披露。会場では世界9カ国20店舗のグルメ屋台。来場者2000人以上
- ・ 主催：勝浦ゼミ1年生から3年生
- ・ 協力：鶴ヶ島市、NPOカローレ、筑波大坂戸高校、各市民団体、地元企業ほか
- ・ ゼミ生たちが、企画運営、広報活動、資機材調達、協賛金集め、関係者説明、準備・撤収、行政機関への許認可申請など、全てを行う。



# 小川町観光活性化

現代政策学部 庭田文近



## ○ 庭田ゼミナール（3～4年生）

- ・ 国土交通省の道の駅・大学連携プロジェクト（2016年度～）
- ・ ゼミ生が埼玉県小川町の観光活性化プロジェクトを企画し、道の駅おがわまち・小川町役場等のご支援を受けながら遂行しています。
- ・ 観光プロモーション動画の制作、楮の葉を活用した食品（栄養ちゃんとトルティーヤ）の開発、萌えキャラを活用した観光PR、地場産品マップの作製など



東上線の車内広告で紹介されました



テレビのニュースに取り上げられました



新聞に掲載されました



51  
栄養ちゃんとトルティーヤ

# 越生線沿線プロモーション 現代政策学部 庭田文近



○ 庭田ソフオモアセミナー（2年生）

- ・ 越生線改善対策協議会（事務局：越生町）からのご依頼
- ・ 前期(オンライン授業)：自治体からご提供頂いた資料に基づき学生がグループになって手書きの沿線自治体PRポスターを制作しました。
- ・ 後期(対面型授業)：越生線を題材にしたプロモーション動画を制作中



越生駅構内に展示されたポスター

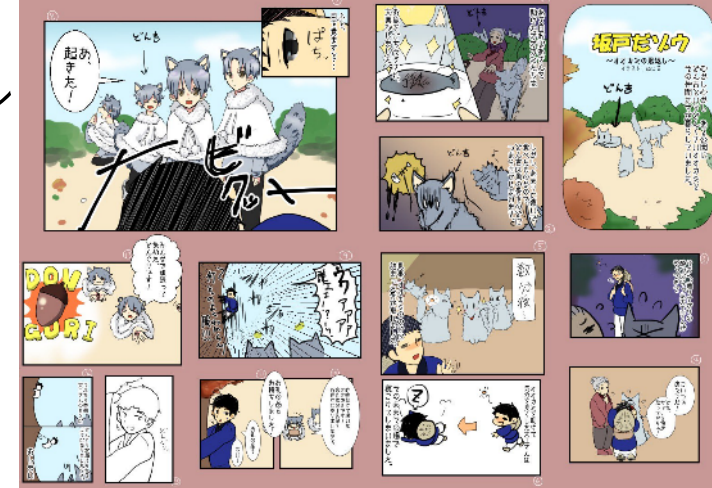


動画はインターネットで公開中

## 坂戸まちづくり

○ 地域イノベーション(3年生以上の専門科目)、庭田ゼミナール

- ・ 例年：自治会や商店会等のご協力を得て履修生・ゼミ生が様々な地域イベントを企画・実施してきました。
- ・ 今年：コロナ禍のためイベント以外のまちづくりを模索  
ex) 民話・伝承の漫画冊子の制作、創作童話の動画化、  
Twitterによる地域情報の発信、防犯ポスター制作など



坂戸だゾウ（坂戸の民話の漫画冊子）

## 「共助」をテーマに活動 現代政策学部 柳澤智美



- 活動内容（現在コロナで見合わせて中の下記3活動）
  - **MOA美術館坂戸・鶴ヶ島児童作品展**（展示・企画・ポスター制作）
  - 障がい児童の週末の居場所作り（東松山いわはなににて、友達の家遊びにおいでよ！  
をうたい文句に活動）
  - **Happy-lucky-café**（城山公民館にて小学生の放課後の居場所づくり、一緒に夕飯を食べ、  
元気に遊んでいます）
- 活動内容（現在コロナでも活動中）
  - **城山小学校オンラインPC教室**（小学生の皆さんへPC操作のボランティア）
  - **コロナの中で活躍する皆さんへのインタビュー**（坂戸の広報誌掲載）
  - **紀尾井町混声合唱団**（千代田区在中の皆さんと一緒に歌うこと口腔健康を目指す）

# ローカルヒーローを活用した地域活動 (年間15回)

経営学部 石井龍太 全国的に有名



ゼミ生達と「ローカルヒーロー」と呼ばれるキャラクターコンテンツを制作し、様々な地域活動を行っています。

- 地域の催事でのステージショー (坂戸、鶴ヶ島、毛呂山、日高…)
- ボランティア活動 (チャリティイベントへの参加、清掃活動…)



子供に凄い人気



# 「無いよりマシ」作戦

コロナ禍の中でマスク不足が深刻化した2020年3,4月には、ゼミ生達と協力して

**衛生啓発カード**と**手作りマスク1200枚**

を作成し頒布しました。

※伊関友伸先生（経営学部）、松本明世先生（薬学部）、勝浦信幸先生（現代政策学部）、藤縄善朗先生（短期大学）はじめ、多くの教職員の方々から協力いただきました。





## 活動の内容

- 2008年度に新設されたプロジェクト科目群の一つで**フィールドスタディー**に**重点**を置いた講義
- ①坂戸市など大学周辺の近隣市町村で行われるイベントなどに参加し、**まちづくりに必要なノウハウなどを学ぶ**こと、②将来、学生が地元に戻った際に、この講義で学んだこと・経験したことを活かし、**地元のまちづくりへ貢献・将来のキャリア形成に繋げる**ことを目的とする。
- **こまフェス～高麗郡建郡感謝祭～**、**七夕まつり**、**坂戸・夏よさこい**などに参加。「坂戸・夏よさこい」では、**経済波及効果測定**を行っている。また、大学周辺・坂戸市中心市街地の**クリーン・キャンペーン**も実施している。さらに、毎年50名近くの学生が「**商業施設士補**」の資格を取得している（**2019年度は、111名が合格**）。なお、受講生数名が「**機能別消防団（学生消防団）**」にも入団した。



坂戸・夏よさこい



クリーン・キャンペーン

# まちづくり連携先

- 坂戸市役所
- 鶴ヶ島市役所
- 毛呂山町役場
- 越生町役場
- 日高市 & 高麗神社
- etc



坂戸よさこい祭り



坂戸クリスマスイルミネーション

クリーンキャンペーン (冬)





## ・河川の生態系を守るための保全遺伝学的データの蓄積

⇒ 遺伝的な健康診断

## ・環境DNA検出技術を用いた新たな生物多様性モニタリング手法の開発

\*環境DNAとは、水中に放出されたフンや体表面から溶出したDNAのことです。環境DNA 検出技術とは、これら水の中にあるDNA から、ある生物特有のDNA を定量PCR を用いて測定し、その生物の在不在や生物量を推定する方法です。

研究例：

ムサシトミヨ（熊谷市ムサシトミヨ保護センター）

ホトケドジョウ（坂戸市）

アベサンショウウオ、ナガレホトケドジョウ、トミヨ（福井県越前市との共同研究）

ツクバハコネサンショウウオ（茨城県生物多様性センターからの委託研究）



# 鶴ヶ島サフランプロジェクト

薬学科  
医療栄養学科

教授  
准教授  
助教

上田秀雄  
山王丸靖子  
関口祐介

鶴ヶ島市

## サフランの特産品化を進めている鶴ヶ島市の活動支援

- サフランめしべ収穫時の乾燥方法の提案
- サフラン中成分含量の分析
- サフランを使った料理レシピの提案
- サフランフェスタでのサフランあんぱん販売



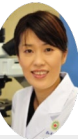
乾燥しためしべがサフランとして食品などの着色料として使われるほか、薬用にも用いられます。



画像は鶴ヶ島市HPより



サフランフェスタでの  
“サフランあんぱん”  
の販売の様子  
(中央)  
藤縄 前鶴ヶ島市長



## 坂戸市の子育て活動『キッズワーク・プラス』

(現代政策学部 柳澤ゼミとの協働)

『キッズワーク・プラス』：地域の子どもを対象に体力低下の改善と居場所づくりを目的とした地域共生事業

大学や地域のボランティア等と協働しながら、地域の子ども達に運動する環境や共食の機会を提供し、スポーツや遊戯、食育など様々な体験を通して、体力向上や生活習慣改善に取り組むプログラムです。

本研究室の学生は、食育部門を担当し、子どもに対する栄養教育の実施、運動後に提供する食事の献立作成と調理を行いました。

●子ども達に献立や栄養について説明

●クリスマスツリーの食育リーフレットを作成・提供

●子ども達が盛り付けたカレーライス



2019年12月の様子



## がん患者・家族支援チャリティ活動『リレー・フォー・ライフ・ジャパン川越』

イベントの運営に携わるとともに、実行委員の皆さんと協力して、がん患者さんならびにその関係者の方達、参加者を支援しています。



当研究室企画のスタンプラリーは、全国にも紹介されるほど好評を得ています。参加者からは「**学生さんがいるので頑張れるよ**」と喜ばれています。



## コミュニケーション体験演習(薬学科4年生必修)

城西大学薬学部薬学科では、生活者の多様な考え方を理解した上で、地域社会に貢献できるようになることを目指します。

コミュニケーション体験演習では、城西大学が関わる**集団や地域**を**コミュニティとして捉え**、そこで実践される**プロジェクト基盤型の活動**等に**参画することにより実践的なコミュニケーション能力**を培うとともに、その活動に関連した知識や技能を能動的に修得し、さらにプロジェクトを企画・実践・振り返るといった一連のプロセスを体験することで、コミュニティの特性、関係者の思い、課題などを発見そして理解し、課題解決に向けた方策や活動を考える能力を養うことを目標としています。(知識・理解) (汎用的技能) (態度・志向性)

## Project based Learning (PBL)を基本にしたアクティブラーニング

(地域・コミュニティの課題解決に取り組む!)

### 2019年度のプロジェクト

- オープンキャンパスの学生企画
- 多職種連携教育
- リレー・フォー・ライフ(がん患者さん支援)
- アレックスレモネード・スタンド
- 城西健康市民大学
- 老健施設訪問
- 薬と健康の週間



実務実習で実践的能力を磨く前段階として、専門的知識や技能ではない"総合的能力(気づき、チームで活動する力、意欲的に取り組む力など)"を養う



# 薬と健康の週間

薬学科（6年制課程）は、2019年10月20日、浦和駅前（パルコ前広場）にて、埼玉県薬剤師会主催の『薬と健康の週間』に参画しました。埼玉県薬剤師会の方々と浦和駅前（パルコ前広場）にて薬物乱用防止の駅頭キャンペーンも行いました

主催：一般社団法人埼玉県薬剤師会

協力：城西大学薬学部

# 老健施設訪問

薬学科 4年生の必修科目であるコミュニケーション体験演習にて、「2019年に介護老人保健施設 鶴ヶ島ケアホーム」様のご依頼により、学生が施設利用者との交流を行った地域貢献



入居者の方々とストレッチをする様子



劇:





**しゃがんで同じ目線になり、お話ししながらおいがみをした。**



折り紙：車いすの方や軽度認知症の方と30分程度で一緒に実施

# リレーフォーライフジャパン川越

Save Livesをテーマにがん撲滅を願うチャリティー活動

募金活動・啓発活動・イベントで地域に「笑顔・元気」を！

今年はコロナ感染症のため、  
SNSの啓発活動でした



たくさんの笑顔



撮影して  
SNS啓発



募金活動



ルミナリエを灯して その想いを届ける

# リレー・フォー・ライフ・ジャパン川越

## 副実行委員としての地域活動・教育活動



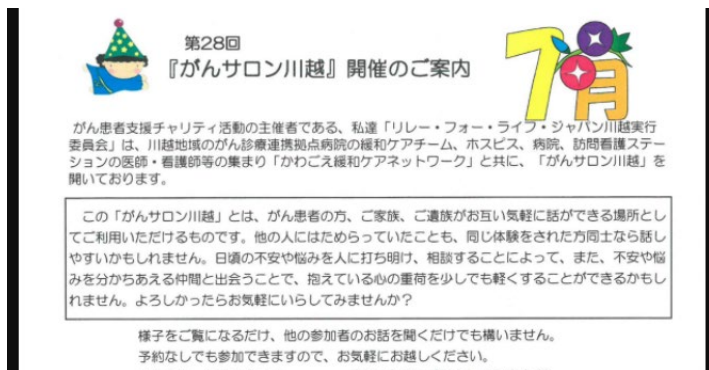
日本対がん協会を中心とする  
がん撲滅を目的としたチャリティー活動



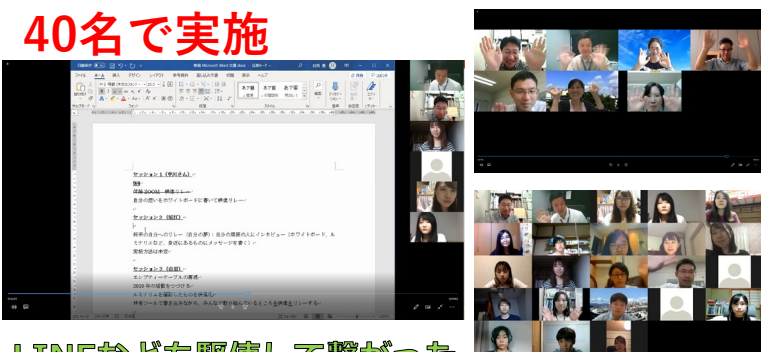
地域の住民への活動  
啓発・講習会

城西大学薬学部 必須科目  
コーディネート

4大学 連携教育の支援  
埼玉県立大学・埼玉医科大学・城西大学・日本工業大学・埼玉県



ZOOMによるオンライン活動の様子



地域の方々へ無料の勉強会の開講や「がん撲滅」の啓発を計画しています。

SNS発信による若者への啓発活動  
ポスター掲載による広報

埼玉県民の豊かな暮らしを支える「連携力」のある人材育成

# 学校薬剤師・スポーツファーマシスト

## 地域活動・教育活動

### 地域貢献だけでなく学生教育のリアリティを追求

- 地域薬剤師会との情報共有によってリアルな情報を講義に反映
- ドーピング指導など、将来の薬剤師像の1つを提案しています



#### 学校薬剤師



定期検査の実施によって、最適な学業環境維持、薬に関する相談によって**健康やかな学びを支援**



薬物乱用防止講習会によって「**いわゆる薬物**」の知識や危険性などを学んでもらっています。

#### スポーツファーマシスト



**Sports Pharmacist**  
スポーツファーマシスト

大学生・高校生からドーピングに関する相談をうけて、**適切なスポーツ文化・活動**を支援しています。

# 医療栄養学科（管理栄養士養成課程）の多彩な地域連携プロジェクト

## 高麗川かわガール 月2回

- ・高麗川多和目地区の定例美化活動
- ・医療栄養学科の必修科目の医療栄養概論演習で水環境を学ぶ

## ときがわプロジェクト 年20回

- ・官学連携 ときがわ町の住民の食事栄養調査と食育
- ・官学連携 食を通じた地域活性化活動（メニュー開発、広報誌の連載）

## もろやまプロジェクト

- ・産学連携 毛呂山町と連携し「タネまで柚子らん」の開発

## 行田プロジェクト

- ・産学連携 行田市のレストランメニューの健康化プロジェクト

## 坂戸市にぎわいサロンにおける食育活動 北坂戸駅前

- ・官学連携 「食育情報誌の発行」



真野 博  
医療栄養学科主任



高麗川かわガール



ときがわプロジェクト



もろやまプロジェクト

ご清聴をありがとうございました。

（社会連携に関して）城西大学への  
要望，期待，アドバイス，苦言などをお教えいただき，  
改善に繋げて行きたいと思います。

藤野陽三

[fujino-yozo@josai.ac.jp](mailto:fujino-yozo@josai.ac.jp)  
[predident-office@josai.ac.jp](mailto:predident-office@josai.ac.jp)